

競技に関する注意事項

1 コロナウィルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の陸上競技部代表、競技役員、選手、マネージャーのみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は体調管理チェックシートの提出が必要となる。競技場では必ずマスクを着用し、三密を避ける。
- (2) ①本大会1週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理チェックシート」を記入する。
②競技場に着いたら最初に必ず選手・代表・マネージャーは1階正面玄関ウッドデッキで必ず体調管理チェックシートの提示と検温を行う。このチェックを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
③体調管理チェックシートは招集完了後に競技場へ入場する際にゲートで回収をする。
提出がなければ競技会への出場は認めない。
④各団体の代表も、1階正面玄関ウッドデッキで体調管理表の提出が必要となる。その時、入場IDを配布するので競技場の入退場を使用する。(審判員は審判員証でよい。)各団体の代表、マネージャーはメインスタンド出入口から入退場する。(※各団体の最大発行IDは2枚とする。)
⑤大会当日に出場できない選手がいる場合は、団体受付時に欠場届を提出する。
⑥大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理チェックシート」を記録する。
- (3) 出場する種目の競技開始2時間前から競技場への来場を認める。それよりも早く競技場へ来場しない。
- (4) 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座る。
- (5) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (6) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける行動をする。
- (7) 更衣室については、使用する際は1階正面玄関入り口から入り、ナンバーカードを提示する。ただし、シャワーの使用は不可とし、速やかに出る。使用状況によっては、人数を調整する。
- (8) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルスの感染予防に努める。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員もしくは保護者)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。もし、大会に出場しない選手がいる場合は、この際に欠場届を提出するか口頭で申し出る。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1階正面玄関ウッドデッキで行う。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
4. ウォーミングアップについて
ウォーミングアップの実施は競技開始2時間前から可能とする。
 - (1) 本競技場
本競技場内でのウォーミングアップは禁止とする。
ただし、男女4×100mRについては、競技準備に支障をきたさない限り8:40~10:20の間、本競技場を使用することができる。使用した場合は、10:20には競技場外へ退場すること。
 - (2) ウォーミングアップ場(サッカー場)
 - ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
 - ④出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
 - ⑤本競技場で入場受付を済ませた選手のみ入場可能

5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
6. 写真及びビデオ撮影について
肖像権の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしない。

3 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
 - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
 - (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
2. 競技について
 - (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
 - (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
 - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、投てき器具は検定を受けて使用することができる。
 - (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。（参照 TR5.3）
 - (5) WA 規則 TR5.2～TR5.6のルール再改訂における本大会での適用について

本大会は、標記の規則を適用して実施する。招集所にて、靴の確認を行なう。

ただしフィールド種目においては、適用除外措置の期間（2023年3月31日まで）であるため靴底の測定は行わない。

他については、WA の HP テクニカルインフォメーションに使用可能な靴のリストがある。

種 目	靴底最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除:三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (Hを含) (800m未満)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走含む) (800m 以上)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。ンテ
クロスカントリー	25mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

- (6) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
- (7) 走幅跳および投てき種目の試技回数は3回とする。

【選手の動線について】

1. 競技場内にはそれぞれ指定されたゲート（招集後入場口）から入退場すること。また、メインスタンド下は通行しない。
2. 入場の際は体調管理チェックシート提出すること。再入場はできない。また、指定されていないグラウンドレベルのゲートは封鎖する。
3. 選手はスタンドに入ることができない。スタンドに入れるのは、団体受付で配付されたIDを持った代表者もしくはマネージャーのみ。IDは各チームに最大2枚発行する。入場可能な場所はメインスタンドのみとする。
4. 競技場内を通過する際には、競技運営に支障が無いように十分配慮すること。
5. 招集完了はタイムテーブル記載のとおり。場所は正面玄関ウッドデッキに設置する。その際、競技役員に体調管理チェックシートに検印をもらうこと。体調管理チェックシートを提出できない場合は出場を認めない。
6. トラック種目はゴール付近に設置した腰ナンバーカード回収所で腰ナンバーカードを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周する。
7. 競技終了後速やかに競技場外へ退出すること。
8. 記録の速報は行わないので、記録速報ページで記録を確認すること。アナウンスによる発表は行う。
9. 荷物置き場について
荷物置き場は競技に臨む最低限の荷物を置く場所とする。競技運営上支障のない場所で、三密にならないようにすること。